

## 復興への局面を拓く年に

厚真町長 宮坂 尚市朗

2023年の新春を迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでごあいさつ申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本町に未曾有の災害をもたらした平成30年北海道胆振東部地震から既に4年4カ月の月日が経過しました。この間、全国・全道の関係機関から深いご理解と多大なご尽力を賜りました。また、全国から寄せられた温かいご支援に改めて心から感謝申し上げます。

町内では、人里に近い急傾斜地の安全確保、直轄砂防施設、治山施設の建設、浄水場、橋梁、道路などの社会基盤や宅地、農地、灌漑施設などのインフラの復旧工事は、既にほぼ完了し、残る工事も町施行の一部工事を除き新年度中には完了予定と伺っています。このような状況の中、3000haを超える被災森林の再生が課題となっていますが、令和8年度までを重点期間としてこれまでの取組をさらに加速させてまいります。全国的にも日本の災害史に記録される規模での取り組みとなりますので、関係機関、関係者の皆様には、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

災害復旧が進み、本町は、復興への取り組みにも挑戦を始めています。庁舎周辺整備や防災減災対策、自然災害被災地ならではのエネルギー地産地消や省エネルギー・創エネルギー・吸収源対策を官・民・学で総合的に取り組んでいくゼロ・カーボン施策の推進、一次産業を中心にIoT、ICTの推進とグリーン×グリーン×デジタル政策を展開し、「悲しいまちでは終わらない」から「決して諦めないまち」へと『挑戦』をキーワードに歩みを進めています。民間が進めている陸上設置型風力発電事業の環境影響評価手続きについては、北海道と連携して注視しているところですが、ゼロ・カーボンタウンの構想実現に向けた民間からのアプローチには手ごたえを感じています。

未曾有の困難にあっても、町民一人ひとりの災害に立ち向かう姿勢とご理解ご協力により、ここまで復旧を進めることができましたが、一方で、被災された町民の皆さんが抱える不安、悩みはこの短期間では、決して癒えるものではありません。それぞれの不安をできるだけ軽減し、個々の課題解決のため関係機関や町民のご協力をいただきながら、被災者に寄り添い誰一人として取り残すことのない復旧・復興を目指して努力を続けてまいります。また、震災記憶を風化させることのないよう、これからも多くの教訓と復旧・復興の記憶や経験を町内外で共有し、継承していかなければなりません。全国各地で大雨による河川氾濫や土砂災害など、自然の猛威による災害が繰り返されています。北海道における日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震による被害想定は、北海道民に大きな衝撃を与えましたが、今後も、命を守る防災・減災対策に全力で取り組んでまいります。

国際情勢では、ロシアのウクライナ侵攻による安全保障への不安、燃料や資材をはじめとする資源・エネルギー価格の高騰、大幅に進む円安などが、私たちの生活や経済活動に新た

な困難をもたらしています。また、水田活用の直接支払交付金の取り扱いに端を発した農業政策の大幅見直しは、砂糖生産や畑作物の直接支払交付金など、多方面へと急激な広がりを見せており、消費低迷と生産コストの暴騰に苦しむ農業者にとって再生産意欲の減退に繋がるのではないかと危惧しているところでもあります。国においては、食料安全保障という視点から自給率の向上を目指していますが、人材の育成や生産基盤の維持という視点からも、長期ビジョンを明確にしたうえで備えに万全を期していただきたいと願っています。

度重なる災禍、内憂外患の難局にある今日ですが、厚真町は基礎自治体として如何なる時も町民とともにあります。基幹産業の安定と本町の命題である復旧・復興を第一に、その先にある創生への道と持続的発展、本町が目指す将来像「あつまる・つながる・まとまる、大いなる田園のまち」の実現に向け、恐れず誠実に時代と向き合っておりまいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの暮らしは大きな制約を強いられました。未だ感染拡大の収束が見通せない状況にありますが、町民の皆さまには引き続き基本的な感染予防を徹底していただくようご理解ご協力をお願いします。一方で、新しい生活様式や働き方の定着と一極集中の是正、GX（グリーン・トランスフォーメーション）やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進により、経済社会システム全体の変革が進んでおり、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ社会では、成長を追い求める消費型から変化への対応力、強靱性・復元性を備えながら、自然資本を活かした循環型社会への転換と自発的な防災意識社会への変容が求められています。

震災から5年という節目を迎える本年が、町民一丸となって復旧から復興へと新しい局面を拓く「飛躍・向上」の年となることを願い、また、原点回帰ともいえる人と人の繋がり、信頼と寛容、コミュニティの再構築に傾注してまいりたいと考えています。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。